

主な記事
 2・3面 2025都本部組織集会 (全体会)
 2025都本部組織集会 第1分科会/第2分科会/第3分科会
 2025人員確保闘争・現業統一闘争 (第2次) 結果
 コラム 公務員の賃金はどうやって決まっている?
 4面 私のおすすめ
 (自治労町田市図書館嘱託員労働組合 執行委員長 羽山 琴絵)
 2025関東甲地区自治体職員等スポーツ大会 結果

自治労東京

千代田区飯田橋3丁目9番3号
 SKプラザ4階
 電話 03-3556-3755
 自治労東京都本部 発行
 企画 総務局
 責任者 松村 誠治
 編集者 西岡 芳宏
 1部10円(但し組合員は組合費を含む)

東京都・特別区ともに引上げ勧告 (都13,580円3.24%0.05月・区14,860円3.80%0.05月)

<主な勧告内容>

	国	東京都	特別区	
比較対象企業規模	50人以上→100人以上 ※国の本府省職員：東京23区本店企業規模500人以上→1,000人以上			
公民較差	15,014円(3.62%)	13,580円(3.24%)	14,860円(3.80%)	
改定内訳	給料表	10,975円	11,295円	12,383円
	本府省業務調整手当	2,568円	-	-
	特地勤務手当等	72円	-	-
	はね返り(地域手当等)	1,399円	2,285円	2,477円
実施時期	2025年4月週及実施			
給料表の最低引上額	8,300円(2級121号給~125号給)	4,000円(1級113号給~149号給)	8,300円(1級112号給~149号給)	
一時金	4.60月→4.65月	4.85月→4.90月		
(再任用職員)	2.40月→2.45月	2.55月→2.60月		
配分	期末手当及び勤労手当に均等配分(0.025月ずつ、再任用も同じ)			
実施時期	2025年12月支給の期末・勤労手当から実施		条例の公布日	
住居手当	-	27歳までの職員の支給額引上げ(15,000円→30,000円) 実施時期：2026年4月1日	-	
自動車等使用者に対する通勤手当	①新たな距離区分の新設 ②現行距離区分の金額引き上げ(200円~7,100円) ③駐車場等の利用に対する通勤手当の新設(月5,000円上限) 実施時期：2026年4月(②のみ2025年4月週及実施)	国の改正内容や通勤の実態を踏まえ、適切な対応を検討する必要	-	

東京都人事委員会は10月17日に、給与勧告・報告を行い、月例給の公民較差13,580円(3.24%)を解消するため、人材確保の観点から初任給の大幅引き上げ、若年層を重点とするとともに、管理職についても全体の平均改定率を上回る重点的な引上げとしており、その分、1級2級の引上げの配分は期末手当・勤労手当に均等配分とした。また、住宅手当は現行15,000円、年齢35歳未満としつつ、採用における競争力向上の観点として27歳までの職員については30,000円に引き上げ、人事院勧告された自動車等使用者に対する通勤手当の適切な対応について言及された。

特別区人事委員会は10月14日に給与勧告を行い、公民較差14,860円(3.80%)を解消するため、若年層に重点を置きつつも、全ての級及び号給で、昨年を大幅に上回る引上げとし、引上げ額も国同様の8,300円以上とされた。一時金については、東京都人事委員会と同じ引上げ月数、配分とされた。今回の勧告では、2018年の行政系人事・給与制度の改正によって措置された現給保障者を公民比較対象から除外する措置について、対象者が約1%まで減少していることをもって、本年を最後の実施と一方的に除外措置の廃止を結論付けた。なお、現給保障者を除外しない場合の公民較差は

特別区人事委員会は10月14日に、東京都人事委員会は10月17日、それぞれ職員への給与に関する勧告・報告を行った。両人事委員会ともに、公民比較対象企業規模を50人以上から100人以上に見直し、月例給の公民較差は東京都人事委員会勧告では3.24%(13,580円)、特別区人事委員会勧告では3.80%(14,860円)、再任用職員も含めて全級・全号給の引き上げ勧告となったものの、引き続き物価高騰に対して、すべての組合員の安心、安定的な生活を支える賃金改善に配慮されていない。都本部は東京都・特別区の両人事委員会の給与勧告を受け、10月21日に開催した第8回単組代表委員会でも都本部2025賃金決定闘争方針を確立した。

中高年層の引上げ額は抑制されている。一時金については、現行の年間支給月数4.85月から4.90月とする0.05月の引上げとなった。再任用職員も同じ0.05月を引き上げて、年間2.55月から2.60月とし、引上げの配分は期末手当・勤労手当に均等配分とした。また、住宅手当は現行15,000円、年齢35歳未満としつつ、採用における競争力向上の観点として27歳までの職員については30,000円に引き上げ、人事院勧告された自動車等使用者に対する通勤手当の適切な対応について言及された。

2025賃金決定闘争、始まる

なお、今年の勧告で国・都・特別区の初任給は同額となった。一方で、今回の東京都人事委員会勧告における1級2級の中高年層の引上げ額は抑制されている。1級113号給以降の引上げ額は4,000円、2級89号給以降は4,400円と公民較差の3分の1にも満たない。「職務・職責を重視した給与体系の構築」にとられ、地方公務員給与決定にかかる根本基準である均衡の原則の最初に記載されている「生計費」が考慮されているとは到底言えない。また、両人事委員会ともに、これまで再三に渡り求めてきた再任用職員の一時的な支給月

14日に給与勧告を行い、公民較差14,860円、年齢35歳未満としつつ、採用における競争力向上の観点として27歳までの職員については30,000円に引き上げ、人事院勧告された自動車等使用者に対する通勤手当の適切な対応について言及された。

特別区人事委員会は10月14日に給与勧告を行い、公民較差14,860円、年齢35歳未満としつつ、採用における競争力向上の観点として27歳までの職員については30,000円に引き上げ、人事院勧告された自動車等使用者に対する通勤手当の適切な対応について言及された。

14,587円(3.72%)とされている。職層構成比を政令市並みにするための取り組みを重視し、推進していくことが先決であり、職員の生活を顧みず、人事委員会の立場を守るための対応であると言わざるを得ず遺憾である。

若年層・管理職は重点引上げ、再任用職員には課題残

<闘争スケジュール>

- 要求書提出基準日 10月22日(水)~10月31日(金)
- 回答指定期日 11月7日(金)まで
- 交渉ゾーン 11月7日(金)~11月13日(木)
- 交渉ヤマ場 11月13日(木)
- 統一行動日 11月14日(金)

闘争方針では、勧告内容を最低限とした物価上昇に見合う賃金水準の確保をはじめ、同一労働同一賃金の観点から不当に抑えつけられ続けている再任用職員の定年前職員と同じ一時金支給月数の確保、地域手当の国基準の押し付けによる多摩地域自治体賃金水準格差の是正を最重点課題に据えた。自治労全国統一闘争日の11月14日にむけて、統一要求書を提出し、当局の考え方を引き出した上で、すべての組合員の安心、安定的な生活にむけた賃金改善とするため、全単組・全組合員の結集のもと、声を上げ、労使交渉を強化していく。

都、特別区の人事委員会勧告が実施されたが、都の勧告は問題点だらけである。例えば、平均改定率は1級4.5%、2,3級で2.7%、4,5級で4.7%と管理職の改定率が一番厚くなっている。また最小の引上げ幅に至っては、1級1.2%、2級1.2%、3級2.2%、4級4.3%、5級4.7%となっており、これまた管理職のみ厚遇されている。都人事委員会は生計費の原則に対する考え方や民間給与との詳細な比較結果を明らかにすべきである。▼そもそも勧告制度は公務員の労働基本権が制約されていることに対する代償措置にも関わらず、この勧告内容は、人事委員会の中立性を自ら放棄し、当局の下請機関になっていることを声高に示している。▼このよ

数に言及されなかった。定年前職員と同一労働を担っている実態や人員確保が急務である中、人材流出防止の観点も含めた対応が重要である。市町職では武蔵野市職労、府中市職労、国分寺市職労、昭島市職労が昨年段階で労使確認し、また、三鷹市職労が2025人員確保闘争・現業統一闘争において、今年度から定年前職員と同じ再任用一時金月数を確認した。組合員の結果と粘り強い交渉で声を上げていくことが重要である。

東奔西走

都、特別区の人事委員会勧告が実施されたが、都の勧告は問題点だらけである。例えば、平均改定率は1級4.5%、2,3級で2.7%、4,5級で4.7%と管理職の改定率が一番厚くなっている。また最小の引上げ幅に至っては、1級1.2%、2級1.2%、3級2.2%、4級4.3%、5級4.7%となっており、これまた管理職のみ厚遇されている。都人事委員会は生計費の原則に対する考え方や民間給与との詳細な比較結果を明らかにすべきである。▼そもそも勧告制度は公務員の労働基本権が制約されていることに対する代償措置にも関わらず、この勧告内容は、人事委員会の中立性を自ら放棄し、当局の下請機関になっていることを声高に示している。▼このよ

自治労東京 ホームページのご案内

組合員のための情報盛りだくさん
 ・機関紙デジタル版
 ・家電の限定優待販売



<https://jichirotokyo.jp/>
 組合員専用ページ
 パスワード「tohonbu」



シネマジャーナル
編集者
穂曇 萌

『フジコ・ヘミング 永遠の音色』

監督：小松莊一良

心揺さぶる音色は永遠に

2024年4月、92歳で旅立ったピアノリスト、フジコ・ヘミング。情感があふれているのにダイナミックな演奏は、クラシック音楽ファン以外の人の心もとらえ、「魂のピアノリスト」と呼ばれ、国内外で活躍した。その唯一無二の演奏を再び聴くことができるドキュメンタリー。

監督は長期間取材を続け、2018年には『フジコ・ヘミングの時間』という作品を製作、ロングランヒットした。さらに、2024年まで12年に渡って取材を続け、彼女の素顔に迫る。

さらに、初公開のインタビュー映像や絵日記、今回、存在が明らかになった異母妹エヴァや、俳優である弟ウルフラムが語る新たな真実も公開される。スウェーデン人の父が残した仕事が発見され、幼少時の福の時間を過ごせる音楽映画に仕上がっている。

パリ、ベルリン、ストックホルム、LA、横浜など各地の演奏会や自宅で取材を続け、世界的な演奏家になるまでと彼女の人生の苦難と魅力に迫る。

そして、数々の演奏。至福の時間を過ごせる音楽映画に仕上がっている。



2025年10月24日(金)
ヒューマン・トラストシネマ有楽町
(☎03-6259-8608)、テアトル新宿
(☎03-3352-1846) ほかで順次公開
©2025「フジコ・ヘミング 永遠の音色」フィルムパートナーズ

私のおすすめ

『紙を楽しむ』

自治労町田市図書館嘱託員労働組合 執行委員長

はやま 琴絵

ペーパーレスというものが世の中で推奨されるようになって久しいが、私は今改めて紙の魅力をおすすめしたい。

私の趣味は切り絵だ。職場の図書館で、特集コーナーの装飾をするために始めた。手触り、質感、色合い...、同じモチーフを切っても、紙の風合いで作品の印象が変わる。紙に触れていると、この紙だったらこんなものを切ってみよう、という気持ちが出てくる。表面がざらりとした和紙は、羊の毛の質感を表現するのにぴったりだし、ペラペラと薄い透けた紙はオバケを切る時にもってこい、という具合だ。表面がツルツルの薄紙は色を重ねると美しいが、カッターの刃先が滑って切りづらいという発見もあった。

本も電子書籍で読む人が増えてきている。わが図書館でも電子書籍サービスが始まった。文字を読むだけ



●出身県：神奈川県
●組合員歴：
2022年7月～2023年6月 執行委員長
2025年7月～ 執行委員長

なら電子で十分だろうし、便利だと思う。しかし、やはり電子では得られないのは手触りだろう。表紙の力みや帯、遊び紙には、少しこだわった紙が使われていることも多い。図書館では表紙をビニールカバーで覆ってしまうので、私は少しもったいないような気持ちになることもあるけれど...。本文の紙も、実は本によって違う。最近紙の本に触れていない、という人も、たまには実際に手に取って、指先でも本を味わってみてほしい。

2025関東甲地区自治体職員等スポーツ大会 結果



▲バレーボール大会開会式の様子



▲チームメイトの声援を受けながら豪快にスイング

自治労では、組合員の連帯と親睦を深め、組織と運動の発展を図ることを目的に、毎年バレーボール大会および野球大会を開催している。都本部大会で勝ち上がったチームが関東甲地連連大会および交流試合への出場権を獲得し、さらに選抜大会で上位入賞したチームが全国大会に出場している。

今年度の都本部バレーボール大会は出場チーム数の関係から中止となり、出場予定であった自治労都庁職・八王子市職の両チームを関東甲大会へ繰り上げ出場とした。

また、都本部野球大会については開催を予定していたものの、天候不良により中止となり、抽選により大田区職、東交の両チームが関東甲大会への出場権を獲得した。

バレーボール大会
関東甲バレーボール大会は、8月19日～20日、茨城県水戸市の水戸市総合運動公園体育館にて開催された。

9月6日に開催された今年の全国大会(三重県津市・日碓ハイウエアアリーナ)への出場権を巡り、各チームは熱戦を繰り広げた。

大会には各都県から10チームが出場し、トーナメント形式で対戦が行われた。大田区職は藤沢市職(神奈川県)と対戦。序盤に点差を広げられるも、中盤に粘りを見せて追いつけたが、あと一歩及ばず敗れた(15対7)。

東交は松戸市職(千葉県)と対戦。初出場ながら粘り強い守備を見せ、無失点に抑えた回もあった。強力な打線の前に敗れたものの、チーム一丸となって最後まで全力で戦い抜いた(27対0)。

優勝は太田市職(群馬)、準優勝は藤沢市職(神奈川県)、第3位は取手市職(茨城)および松戸市職(千葉)となった。

大会には各都県から9チームが出場し、リーグ戦形式で行われた。東京代表の自治労都庁職・八王子市職はいずれも激戦を展開したものの、一歩及ばず惜敗した。

優勝は宇都宮市職(栃木)、準優勝は甲斐市職(山梨)、第3位は常陸太田市職・日立市職(茨城)となり、優勝および準優勝の2チームが全国大会への出場権を獲得した。

野球大会
関東甲野球大会は10月15日～16日、埼玉県熊谷市の熊谷さくら運動公園野球場にて開催された。

今年度は隔年開催の全国大会がない年にあたり、関東甲都県本部所属単組の親睦を深めることを目的とした交流試合として実施された。

この特典は、組合員である「あなた」だけのもの



日立の家電製品を自治労東京組合員に特別価格でご提供
専用サイトからお気軽にお求めいただけます



パスワード「tohonbu」